



聖人の洗礼名(下)

長崎巡礼⑩

今回訪れた長崎の城
山教会は一九五二年、
グスチノ修道会によつ

て建てられた。
日本とアウグスチノ
修道会の関係はこれが
初めてではない。さか
のぼること四百九年、
一六〇二年にアウグス

チノ修道会のスペイン
人宣教師が来日し、大
分県豊後地方で布教を
始めた。十年後の一六
一二年には長崎市の現
在のめがね橋付近にサ
ン・アグスチン教会を
建てた。

しかし二年後の一六
一四年、徳川家康の禁
教令によってわずか二
年で教会は取り壊され
た。宣教師たちは潜伏
して活動を続けたが、
次々に逮捕され、処刑
された。

このような状況下で
あつたにもかかわらず、
マラで、アウグスチノ修
道会では日本人初の司
祭になつたトマス次兵衛
神父は一六三一年、日
本に密入国する。

当時の日本のアウグ
スチノ修道会の責任者、
グティエレス神父はす
でに捕えられ、牢に入れ
られていた。トマス次兵
衛神父は馬丁に変装して
グティエレス神父に会い
励ましたという。が、グ
ティエレス神父は間もな
くイエズス会の神父ら
とともに西坂で処刑さ
れた。以後、トマス次兵

衛神父は各地に潜伏し
ている信徒を励ます活
動をする。

その存在は長崎奉行
の知るところとなり、
奉行所は人相書きを配
って必死に神父を追
続けたが、神父は神出
鬼没に活動して潜伏し
ている信徒たちの心の
支えとなった。

彼はいつも金の鏢
(つば)の刀を隠し持っ
ていたことから「金鏢
次兵衛」と呼ばれるよ
うになる。そして昼間
は外海(そとめ)の山奥
の洞穴に身を隠し、夜
になると信徒の家を訪
ねて励ました。

この洞穴は「次兵衛
岩」と呼ばれ、今日、巡
礼者が後を絶たず、二
つの記念碑が建ってい
る。

密入国から五年後の
一六三六年、神父はつ
いに逮捕された。もし
て棄教させるための八
カ月間に及ぶ拷問の
末、一六三七年、穴吊り
の刑で殉教、時に三十
五歳であった。

これによって日本で
のアウグスチノ修道会

送られて来たトマス金鏢神父に関する小冊子



トマス次兵衛神父の生涯
キリストへの愛・同胞への愛

の活動は途絶えた。そ
して城山教会が建てら
れる一九五二年まで三
百十五年の歳月が流れ
たのである。

今回の城山教会訪問
はわずか一時間余り。
余りに知らないことが
多いので、何度も教会に
電話をかけて話をうか
がった。

現在のアウグスチノ
修道会日本分管区長の
柴田神父から小冊子や
資料が送られて来た。

それによると、殉教
したトマス金鏢神父は
一六〇二年に大村に生
まれ、六歳でイエズス
会が運営するセミナリ
オ(教育機関)に入学し
ている。大村は大名で

最初に洗礼を受けた大
村純忠の地で、当時、大
ジオ局長

村だけで約六万人の信
徒がいたという。しか
しキリスト教への迫害
は日増しに激しくな
り、セミナリオは閉鎖。
次兵衛は神学生として
マカオに渡り、その後、
マニラのアウグスチノ
修道会に入り、二十六
歳で司祭になった。

彼の五年の日本での
活動を何らかの形で助
けたとして捕えられ、
処刑された人は六百三
十七人というから迫害
の厳しき、残酷さが行
間から伝わってくる。

自分の洗礼名の修道
会での彼の生涯を思う
時、何とも表現しよ
うのない神への渴きを覚
えるのである。

(元山口放送取締役ラ
ジオ局長)



イエズス会のクラークソン神父(右)に

案内されて訪れた城山教会―左は妻